



～新旭電子工業グループのSDG s 推進事例～

排水処理の技術開発 琵琶湖に負担にならないように。 資源（銅）のリサイクル推進

滋賀の工場は、日量1,200tの工場排水を河川放流しています。工場の水使用量は、日量2,200tですが、イオン交換純水設備で1,000 t /日再利用しています。

排水に含まれる銅イオンはマイクロフロー膜でろ過して銅回収、フィルタープレスで脱水して銅含む有価物として売却しています。（銅資源の再利用）

基板の銅表面の研磨で発生する銅をフィルターを使用して銅回収を行い銅含む有価物として売却しています。（銅資源の再利用）

排水処理で処理した排水は120 t タンク（3台）で各タンク満タンで水質検査をしてから順次排水出来るシステムを有しています。排水は河川放流していますが、水質は県の条例（銅濃度 1 p p m以下）高島市は（0. 5 p p m以下）社内の運用基準は 0. 0 5 p p m以下で管理しています。

排水検査で基準を超えた時は、再度、最初から処理出来るシステムを有しています。今後も排水処理維持管理、最新の排水処理設備技術を導入して琵琶湖の水質浄化に努めます。

★排水処理放流水監視槽



★第2工場ろ過機



★イオン交換純水、水リサイクル設備



★排水処理 マイクロフロー

